令和 4 年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

277	417		4 年度東京都立羽村特別文援字校牛間指導計画	
学		高等部	学 年 第2学年	
教科等名		国語	グループ名 2 類型 A	
			E活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を深める。	
		, , ,	よ人と関りながら、自分の意思を伝えられる、自分に合った。	コミュニ
7.	ょらい	ケーシ	/ョンの力を身に付ける。	
		(3) $\exists \xi \exists$	ムニケーションに必要な語彙を増やし、言語活動の幅を広げ	ようとす
		る態度	きを養う。	
担	当教員	〇関口由;		
		84 単位時	• •	
	教科書	なし	P.W.	
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点)□指導の工夫	備考
	日常生活			加与
- 連午		•	○身近な言葉と文字(文字につながる形、平仮名、片仮	
	社会生活		名、漢字)のマッチング、模写、書写、書字	
	必要な言		◆身近な言葉を理解し、イラストや文字カードなどと一	
			致できる。	
			◆身近な言葉を理解し、なぞり書き、書写、書字できる。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
			○単語、短文、ショートストーリーの読み聞かせ	
			◆単語や短文を聞き取る。	
			◆聞いた内容や絵などによる表現を理解し、楽しむ。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
	図書室の	利	○図書室の利用方法	
	用		◆図書室の利用方法を知る。	
	713		◆自分で興味関心のある本を選ぶことができ、落ち着い	
			て読める。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
4	自己紹介		○自己紹介	
5	挨拶をし	よ	◆名前や好きな事を絵や文字カード、言語で表すことが	
6	う		できる。	
			◆挨拶を表す言葉を理解する。	
			◆カード等を用いて自分の気持ちを表したり、伝えたり	
			することができる。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
7	生活に必	要 16	○日常生活で使う言葉	
9	な言葉		◆身近な言葉を理解し、文字と一致させ、日常生活の中	
			で活用しようとすることができる。	
			○社会生活で使う言葉	
10			◆インターンシップや現場実習に関連した言葉を理解	
11			し、文字と一致できる。	
			◆学習した言葉や表現を社会生活の中で使おうとするこ	
			とができる。	
			□視聴覚教材を有効に取り入れる。	
11	手紙を書	<u>- 16</u>	○手紙の書き方	
12	子似で音 う		○子派の音さの ◆お礼状や年賀状の書き方を知り、書く。	
$\begin{vmatrix} 12 \\ 1 \end{vmatrix}$	書写		▼ねれ状や牛負状の音さ力を知り、音く。 ○ペンや毛筆を使った書写	
1	亩子			
			◆ペンや毛筆での表現を体験する。	
			◆和紙に自分で選んだ文字を書くことができる。	
			□体験活動を取り入れる。	
2	まとめ	8	○まとめ・年間の学習の振り返り	
$\begin{bmatrix} 2 \\ 3 \end{bmatrix}$	8 C V)		◆1 年間の出来事を思い出し、絵や文字カード、言語で表	
			▼1 午间の山米事を心い山し、松や文子カード、言語で衣 現する。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
L		i		

令和 4 年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

	学部		4 年度東京都立羽村特別文 援学校年間指導計画	
	学 部 教科等名	高等部 国語	学年第2学年グループ名2類型BC	
	双 件			
			生活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を深める。 との関わりの中で自分の気持ちを適切な言葉で表現する力を身に付け	トス
	ねらい		この関わりの中で自分の気持らを適切な言葉で表現する力を身に行り ユニケーションに必要な語彙を増やし、言語活動の幅を広げようとす	-
		を養う		つ応及
	担当教員	を食う ○家納		
年	担ヨ教貝	○		
	· 同役 果 时 級	84 単位 时 なし	THI.	
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点)□指導の工夫	備考
通	日常生活に必		○身近な言葉と文字(平仮名、片仮名、漢字)の模写、書字	C. tHA
年	な言葉		●身近な言葉を理解し、書写、書字できる。	
	5 11 /1		□生徒の実態に合わせて課題を設定する。	
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
			◆自分で興味関心のある本を選ぶことができる。	
	図書室の利用		□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
4	自己紹介をし	よ 3	○自己紹介	1
	う		◆自分の名前や誕生日、好きなことなどを文章で表すことができ	
			る。	
			◆拗音や撥音などに気を付けながら、自己紹介をすることができ	
			る。	
			◆友達の自己紹介を聞き、内容を聞き取ることができる。	
			□生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
5	文字を読もう	24	○平仮名、片仮名、漢字の読みと書き取り	
6	文字を書こう		◆文字を読めるようなるとともに、はっきりとした発音で話せるよ	
7			うになる。	
9			○文字やカルタを使ってのマッチング	
			○身近な単語を用いた文字、名前、単語のなぞり書き	
			◆自分の名前、教科名等を書けるようになる。	
			◆絵カードや、文字カードを正しく並べる。	
	社会生活にい		□語彙を増やせるよう、様々な場面で用いられる言葉を選ぶ。 ○社会生活で使る言葉	
	社会生活に必 な言葉	安	○社会生活で使う言葉◆丁寧な言葉遣いを知り、文字で書き表したり、実際に音読したり	
	は日朱		▼ 「	
			することができる。 ◆状況や相手に応じて、言葉を使い分けることができる。	
10	お礼状を書こ	う 19	○お礼状の作成	<u> </u>
11	MO LINK G B C		◆お礼状の書き方を知り、実際に体験する。	
12			◆記述状の自己がを知り、実際に体験する。 ◆言葉遣いや漢字に気を付けながら、丁寧に模写をすることができ	
			る。	
	文章理解①		□視聴覚教材を有効に取り入れる。	
	文章表現①		○読書活動(絵本等)	
	日記、手紙		◆見たり聞いたりして、内容を理解して楽しむ。	
	詩、俳句		○自分の気持ちや事実を言葉で表そう	
			◆言葉の内容を理解し、動きを動作で表す。	
			□簡単な言葉で書かれた文章を用意する。	
			○例文を使った質問	
1	書写	3	○書写	
			◆自分で選択した文字を書くことができる。	
			□丁寧にゆっくり書くように繰り返し確認する。	
2	まとめ	10	○まとめ・年間の振り返り	
3			◆1年間の出来事を思い出し、短文で書き表すことができる。	
			□生徒の実態に合わせてワークシートを作成する。	

学	☆ 部	高	等部		 	第2学年	
	女科等名	社				***	
		(1))身近な	地域を中心にした地理、プ	文化や生活を知	ロる。	
:	ねらい	(2))社会生	活に必要な知識と技能を身	身に付け、 自分	分の考えを伝える力を養	きう。
		(3))日本の	伝統文化を知り、伝統を力	大切であるとレ	いう自覚を養う。	
担	1当教員	0	家納汀				
年間	月授業時数	18	単位時	間			
使	用教科書	見	て、学	んで、力がつく!こども	日本地図(永	岡書店)	
月	題材名		時数	○主な学習内容 ◆ねら	い (評価の観	見点) □指導の工夫	備考
4	日本の国土	0	9	○日本の国土、生活、歴	史について		
5	様子と国民	生		◆日本国土の特徴を知る。	0		
	活や歴史			◆日本国内の地域によっ	ての生活様式	を知る。	
	自然環境			◆日本の歴史について、	概要を知る。		
	産業と生活						
				□ⅠCT機器を利用して	、視覚的に分	かりやすいようにす	
				る。			
				□興味・関心を引き出し	やすい題材を	用意する。	
6	外国の様子		4	○外国の様子を知ろう			
				◆過去にオリンピック・/			
				について学び、理解を注	保める。日本と	この生活の遅いについ	
				て気付く。	・担労品にか	a h b to b a large	
				□ⅠCT機器を利用して	、倪見りに分	いかりやりいようにり	
				る。 □興味・関心を引き出し [、]	めよい質せな	田舎よる	
				口無味・関心を引き出し	ですい題的で)	力息 りる。	
7	社会参加と	決	5	 ○選挙の仕組み、投票の [、]	やり方		
9	まり			◆選挙についての仕組み		の役割・青仟を示すこ 1	
	主権者教育			とについて		ZECATE	
	公共施設と			◆具体的な投票の方法を	知る。		
	割	V-		□具体物を利用しながら	0	 イを行うことで具体的	
				な選挙の方法への理解			
					-		

当	全 部	高等部	一个人 未水都立初们的加	学 年	第2学年	
孝	女科等名	社会		グループ名	2類型BC	
	ねらい	(2)社会生	:地域を中心にした地理、 活に必要な知識と技能を)伝統文化を知り、伝統を	身に付け、自分	分の考えを伝える力を養	きう。
担	3当教員	○高橋義	弘 〇村越幸子			
年間]授業時数	18 単位時	間			
使	用教科書		役立つ社会(東洋館出版 んで、力がつく!こども		岡書店)	
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねり	らい (評価の観	見点) □指導の工夫	備考
4	日本の国土	の 9	○日本の国土、生活、歴	史について		
5	様子と国民	生	◆日本国土の特徴を知る	0		
	活や歴史		◆日本国内の地域によっ	ての生活様式	を知る。	
	自然環境		◆日本の歴史について、	概要を知る。		
	産業と生活					
			□ I C T 機器を利用してる。 □興味・関心を引き出し			
6	外国の様子	4	○外国の様子を知ろう◆過去にオリンピック・について学び、理解をて気付く。□ICT機器を利用してる。□興味・関心を引き出し	深める。日本と	との生活の違いについ	
7 9	社会参加と まり 主権者教育 公共施設と 割		○選挙の仕組み、投票の ◆選挙についての仕組み とについて ◆具体的な投票の方法を □具体物を利用しながら な選挙の方法への理解	を知り、自分の 知る。 、ロールプレィ		

22	 ź	高等部	学 年 第2学年	
	<u></u> 数科等名	数学	グループ名 2 類型 A	
- 1	X/1 寸/1		図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈し	+-
			因かなこに フャーとの基礎的な概念、圧貫を壁解し、数字的に解析し、 理したりする技能を身に付ける。	/_
			の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を	
	ねらい	養う		
			。 的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数	
			中活動の楽しさにXnさ、数字的に処理したり刊刷したりして、数 生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
+	 旦当教員	○関口由		
-				
	引授業時数 田教科書	59.5 単位		
-	用教科書		さんすうプリント 10 までのかず(小学館)	<u>∃z.</u>
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備	考
4	数	10	○身近な数量	
5			◆個数を正しく数える、書き表す	
			◆数の順序、位置を数で表す	
			□ I C T 機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援	
	\\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \		する。	
6	数と計算	20	○身近な数	
7			◆ 2 0 までを数唱する。	
			◆1位数と1位数を加法する。	
			□ I C T 機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援	
			する。	
			□生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを	
	521 TV	1.0	用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
9	図形	10	○身近な図形	
			◆名称「丸・三角・四角」を理解する。	
			◆縦線・横線・△・□を描く。	
			□ I C T 機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援 する。	
			9 %。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを	
			用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
10	図形	10	→ 用息したり、SIと個別指導したりして、子首を進める。 ○身近な図形	
11	凶 <i>1</i> /2	10	◆形の属性で分類・集める。	
12			▼形の属性で分類・集める。 ◆身の回りにあるものを丸・三角・四角で分類・集める。	
12			■ ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援	
			1101機能を信用し、主体が規見的に座解しるるように又接 する。	
			9 0 0 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを □	
			用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
1	測定	10	○身近な量	
$\frac{1}{2}$	(尺) (二	10	◆長さ、重さ、高さ、広さの量の大きさを測定する。	
3			▼氏さ、重さ、同さ、広さの重の人ささを例だする。 ◆長さ、重さ、高さを比較したり用語で表現する。	
٥			▼氏さ、単さ、同さを比較したり用語で表現する。□具体物を用いながら、図形の特徴の違いを伝える。	
			口共仲物で用いながり、凶形の付限の连いで伝える。	

<u></u>	全 部	高等部	<u> </u>		第2学年	
<u> </u>	女科等名	数学	,		2類型BC	
4	XIII G I				~	足した
			(や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈した 処理したりする技能を身に付ける。			
			の事象を数理的に捉え、数学的	-	・用いて簡潔に表現する ⁻	カを
	ねらい	養う		17 4 25 6	一川(「町床(これが)」の	,,
			。 内活動の楽しさに気付き、数学	学的に加用	目したり判断したりして	米行
			生活や学習に活用しようとす。 生活や学習に活用しようとす。			奴
÷	 旦当教員			ひ応及です	₹ / 0	
	日三教員 月授業時数	59.5 単位				
	用教科書		^{四 同} ちするための算数・数学(日本	* 数去证定	山虎/	
						/
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい	(評価の観	.尽) 口指導の工大	備考
4	数と計算	16	数を使った加減算			
5			○教具を用いた加減算			
			○電卓での計算	1	= 1)= HB 5 05 0 2	
			◆日常の場面で計算が利用さ	れているこ	ことに関心をもち、具体	
			的な場面で活用ができる。	.	o	
			◆日常生活の中の具体物を数		-	
			◆電卓で正しい数字や記号を			
			□それぞれの生徒に合った視	覚支援を用	月 怠する。 	
6	時間・暦	12	○時計の読み取り			
7			○カレンダーを用いた日付・			
			◆時刻と時間の概念を理解す		_ · · v	
			◆校外学習や修学旅行などの	具体的な、	時間や暦が分かり、時	
			間の流れに沿った見通しが	-		
			□それぞれの生徒に合った視	覚支援を用	目意する。	
9	図形	8	○色・形の弁別			
	形・色・大	き	○様々な色や形の中からの必	要な情報の	選択	
	さ		◆色・形の違いや、大小の違	いが分かる		
			◆具体的な生活の場面でも色	や形の違い	いを認識し、活用するこ	
			とができる。			
			□それぞれの生徒に合った視	覚支援を用	まする。	
10	金銭	13	○硬貨、紙幣の種類と分類			
11			○硬貨、紙幣の計算			
12			○買い物学習			
			◆金銭について興味をもつ。			
			◆金銭を用いた活動を行うこ	とができる) 0	
			◆校外学習に向けてや日常生	活において	て、意識的に買い物を行	
			うことができる。			
			□具体物を用いて分かりやす	くする。		
1	量・長さ	10.5	○長さと重さの比較			
2			◆長さと重さの概念に気付く	ことができ	さる 。	
3			◆具体物の長さや重さ・量を	比較するこ	ことができる	
			□具体物を用いて分かりやす	くする。		
			□具体物を用いて分かりやす	くする。		

当	≠ 部	高等部	十尺	学 年	第2学年		
教科等名 理科				グループ名	2 類型 A		
る初 (2)観察 出す (3)自然			の事物・現象についての 場場的な技能を身に付ける 、実験などを行い、解決の 力を養う。 を愛する心情を養うとと る態度を養う。	ようにする。 の方法を考える	5力と、より妥当な考え	を作り	
担	11当教員	○家納汀					
年間	間授業時数	17 単位時	f間				
使	用教科書	なし					
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねら	らい(評価の観	点) □指導の工夫	備考	
10	地球・自然	6	○天気の変化				
11			◆四季の天気を知る。天	気の観察をする	<i>,</i>) ₀		
			◆天気の変化の指標となるものを知り、活用する。				
			(雲の動き、気温、風などを記録する。)				
			□視覚的に分かりやすい教材を使用する。				
			○電流の働きについて				
12	物質·	6	○物質の溶け方				
1	エネルギー		◆物質が水にどのように	溶けるか観察す	- る。		
			水に溶けるもの、溶け	ないものがある	らことを知る。		
			◆物質が水に溶けるとど	のような変化か	ぶあるか知る。		
			(色、味、重さなど)				
			□実験器具などの取り扱	いに留意する。			
2	生命	5	○植物の発芽、成長、結	 実			
3			◆植物の発芽を観察し、	成長による変化	とを知る。		
			◆花のつくりを観察して	、理解を深める)		
			□図鑑、模型、動画など	の視覚的教材を	活用する。		
			○動物の発生や成長				

72	 学 部	高等		十尺 米尔那立初竹村加	学年	第2学年			
	<u> </u>	理科			,	2類型BC			
(1)自然の事物・現象についての を					, ,	1 17:	ァ胆士		
				の事物・現象にういての。 歩的な技能を身に付ける		と凶り、観察、天然なこり	(二) (美) 9		
		(0)	- "		, , ,	こもし トルの火わせき	t. 1/1: 10		
	ねらい	(2)		、実験などを行い、解決の	り月伝を与える	D 川と、より安ヨな考え [、]	と作り		
		(0)		力を養う。	ユ) テ 一	- 1. ナ -> (大 -) (T	2. 7 2		
				を愛する心情を養うとと	もに、子んだこ	- とを主体的に生活に生	かそう		
	n // */- 🗀			る態度を養う。					
	旦当教員			弘 ○村越幸子					
	引授業時数		位時		÷1. \				
-	用教科書			役立つ理科(東洋館出版社会)			/++1-v		
月	題材名			○主な学習内容 ◆ねら	い(評価の観	点) 指導の上夫	備考		
10	地球・自然	6	6	○天気の変化					
11	.1			◆四季の天気を知る。天気の観察をする。					
				◆天気の変化の指標となるものを知り、活用する。					
				(雲の動き、気温、風などを記録する。)					
				□視覚的に分かりやすい	教材を使用する	5 。			
12	物質・	(6	○物質の溶け方					
1	エネルギー			◆物質が水にどのように		- 0			
				水に溶けるもの、溶け		-			
				◆物質が水に溶けるとど	のような変化か	ぶあるか知る。			
				(色、味、重さなど)					
				□実験器具などの取り扱	いに留意する。				
			○電流の働きについて						
2	生命	5	5	○植物の発芽、成長、結	-				
3	3			◆植物の発芽を観察し、成長による変化を知る。					
				◆花のつくりを観察して		-			
				□図鑑、模型、動画など	の視覚的教材を	た活用する。			
				○動物の発生や成長					

		To total Los	年度 果尽都立羽村特別文援		1	
学		高等部	学	年	第2学年	
教科等名 音楽				ープ名		
		(1)創意]	こ夫を生かした音楽表現をする	ために	必要な技能を身に付け	るよう
,	ねらい	にする	0			
	Maり V ·	(2)曲の雰	囲気や楽器に音色の変化を感	じ取りた	ながら聴く。	
		(3)様々な	・音楽について興味・関心をも	ち、豊な	いな情操を培う。	
担	1当教員	○矢部	絵里香			
年間	月授業時数	70 単位時	間			
使	用教科書	MY SONG	6 訂版 (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観	見点) □指導の工夫	備考
4	鑑賞	15	○鑑賞「校歌」「日本の音楽」			
5	歌唱		◆曲の良さを見いだし、響きる	を味わっ	て聴く。	
			□響きやポイントなど示した	い部分に	こ意識が向くよう言葉	
			かけをする。			
			○歌唱			
			◆呼吸や発音に気を付けて、罰	次詞を丁	寧に歌う。	
			□歌詞カードや映像など視覚的	りな教材	を用意する。	
6	鑑賞	15	○鑑賞「日本郷土の音楽」			
7	器楽		◆楽器の種類や演奏方法を知り	の、正し	い音の出し方を知る。	
			□イメージをもちやすくするた	こめに手:	本や視覚的な教材を	
			用意する。			
			○器楽「器楽合奏」			
			◆曲に合わせて簡単なリズムキ	丁ちがで	きる。	
			□個別練習の時間を確保し個	別に難し	い部分を確認しなが	
			ら指導する。			
9	身体表現	5	○身体表現「リズムに合わせて	て身体を	動かそう」	
			◆曲の速度やリズムに合わせて	て表現で	きる。	
			□身体の動きが分かりやすい』	ように提	示する。	
10	歌唱	5	○歌唱「季節の歌」			
	器楽		◆季節を感じながら歌を覚える	5。		
			□歌詞の内容と季節を結び付け	けながら	丁寧な説明を行う。	
			○器楽			
			◆教員の合図に合わせて音を出	出す。		
			□生徒の実態に合わせた楽譜の)作成を	行う。	
11	創作活動	10	○創作活動「リズム創作」			
12			◆簡単なリズムを組み合わせ	てオリシ	ジナルのリズムを創作	
			することができる。曲の速度	やリズム	Aに合わせて表現でき	
			る。			
			□野菜などの名前をリズムと約	吉び付け	て、理解が深まるよう	
			にする。			
1	歌唱	20	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」	「Belie	ve」「そのままの君で」	
2			◆式典に向けて、国歌に親しむ	· S .		
3			◆式典での歌唱時のマナーを意	意識する。)	
			□国際的な式典の国家斉唱の関	央像を活	用する。	
	鑑賞		○鑑賞「様々なジャンルの音楽	色」		

	◆音楽について興味関心の幅を広げる。	
	□身近な音楽を題材に設定する。	

学	≠ 部		3 年度 東京都立初刊特別又接字校平間指导計画 学年第2学年			
	. ,	高等部				
教科等名 音楽			グループ名 2類型 BC			
			と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫			
	ねらい		いした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるように	する。		
			雰囲気や楽器に音色の変化を感じ取りながら聴く。			
			な音楽について興味・関心をもち、豊かな情操を培う。			
-	1当教員	〇大出				
	月授業時数	70 単位時				
使	用教科書	2類 MY	Y SONG (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考		
4	鑑賞	15	○鑑賞「日本の音楽」			
5	歌唱		◆曲の良さを見いだし、響きを味わって聴く。			
			□響きやポイントなど示したい部分に意識が向くよう言葉			
			かけをする。			
			○歌唱「校歌」			
			◆呼吸や発音に気を付けて、歌詞を丁寧に歌う。			
			□歌詞カードや映像など視覚的な教材を用意する。			
6	鑑賞	15	○鑑賞「日本郷土の音楽」			
7	器楽		◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。			
			□イメージをもちやすくするために手本や視覚的な教材を			
			用意する。			
			○器楽「器楽合奏」			
			◆曲に合わせて簡単なリズム打ちができる。			
			▼曲に古りせて簡単なりへ公打らができる。 □個別練習の時間を確保し個別に難しい部分を確認しなが			
			□ □ 門			
9	身体表現	5	ら指導する。 ○身体表現「リズムに合わせて身体を動かそう」			
	刀件双坑		●曲の速度やリズムに合わせて表現できる。			
			▼囲の速度やリスムに合わせて表現でさる。□身体の動きが分かりやすいように提示する。			
			山刃 中ツ 男 10 11 11 11 11 11 11			
10	歌唱	5	○歌唱「季節の歌」			
	器楽		◆季節を感じながら歌を覚える。			
			□歌詞の内容と季節を結び付けながら丁寧な説明を行う。			
			○器楽			
			◆教員の合図に合わせて音を出す。			
			□生徒の実態に合わせた楽譜の作成を行う。			
11	身体表現	10	○創作活動「リズム創作」			
12	, 3		◆簡単なリズムを組み合わせてオリジナルのリズムを創作	:		
-			することができる。曲の速度やリズムに合わせて表現でき			
			る。			
			○。 □身近な言葉をリズムと結び付けて、理解が深まるようにす			
			口			
1	 歌唱	20	」。 ○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」「そのままの君で」			
$\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$	₩\ □	20	●式典に向けて、国歌に親しむ。			
3			▼式典に向けて、国歌に親しむ。◆式典での歌唱時のマナーを意識する。			
ర			▼八典しの歌笛时のマナーを思誠する。			

鑑賞	□国際的な式典の国家斉唱の映像を活用する。 ○鑑賞「様々なジャンルの音楽」	
	◆音楽について興味関心の幅を広げる。 □身近な音楽を題材に設定する。	

7	学部	高等部	学 年 第2学年				
孝	数科等名	美術	グループ名 2類型A				
			(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して				
		表すことができるようにする。					
			/	1 み出			
	ねらい		豊かに構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方 を				
	44 9 V) することができるようにする。				
			ノ,ることがくさるようにする。 ノく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する	くい情			
			さい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。) , [] []			
±	旦当教員	○室屋 &					
	1 授業時数 1 授業時数	59.5 単位					
-							
	用教科書		ノアート 新造形と美術 表現・鑑賞 (浜島書店)	/#: / .			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考			
4	平面表現	12	○モダンテクニック等を使用した制作				
5			◆これまで経験してきた様々な技法を使い、意図に応じた表現方法 、				
			を自分なりに工夫する。				
			◆色を選んだり、自身の意図に応じて表現方法を変えたりする。				
			□手順を細分化し、一工程ずつ確認しながら取り組むことで、授業				
			の流れや制作物への意識をもちやすくする。				
6	立体造形①	12	○オブジェ制作				
7			◆木材の端切れ等の積み上げ方を工夫し、造形的な良さや美しさを				
			追求する。				
			□使用する道具や素材を使っての試作を事前に行い、見通しをもっ				
			て制作に取り組めるようにする。				
9	立体造形②	6	○粘土による造形				
			◆粘土素材の感触を感じて制作する。				
			◆粘土をこねたり広げたりしてできる形を楽しむ。				
			□使用する道具や素材を使っての試作を事前に行い、見通しをもっ				
			て制作に取り組めるようにする。				
10	日本の芸術	6	○墨を使った制作				
			◆含水量によって変化する墨の色合いを楽しむ。				
			◆美術文化に対する理解を深める。				
			□様々な技法を事前に練習し、表現の選択肢を広げる。				
11	羽ばたき祭	12	○生徒会から依頼をうけて、掲示用の羽ばたき祭のスローガンを作				
12	準備		る				
			◆共同制作を進める中で、意図に応じた表現の工夫を学ぶ。				
			◆共同で制作する楽しさを感じる。				
			□使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組める				
			ようにする。				
1	卒業式の装	11.5	○卒業式で使用する飾りを制作する				
2	飾		◆お祝いを意識した飾りを作り、意図に応じた表現方法を学ぶ。				
3			◆共同で制作する楽しさを感じる。				
			□使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組める				
			ようにする。				
	<u> </u>						

			「5 年度 果尽都立羽村特別		T	
4	学 部	高等部		学 年	第2学年	
孝	数科等名	美術		グループ名	2類型BC	
		(1) 造形	が的な視点について理解する	とともに、意	図に応じて表現方法を工	夫して
		表す	 ナことができるようにする。			
		(2) 造形	が的なよさや美しさ、表現 <i>の</i>	意図と工夫な	どについて考え、主題を	生み出
	ねらい	し豊	豊かに構想を練ったり、美術	や美術文化な	どに対する見方や感じ方法	を広げ
		たり) することができるようにす	トる。		
		(3) 楽し	く美術の活動に取り組み倉	造活動の喜び	がを味わい、美術を愛好す <i>。</i>	る心情
		を増	らい、心豊かな生活を創造し さい、心豊かな生活を創造し	ていく態度を	と養う。	
扌	旦当教員	○室屋&	りぐみ			
年間	引授業時数	59.5 単位				
使	用教科書	ファイン				
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらり			備考
4	平面表現①	12	○モダンテクニック等を使		— 1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
5	, , , , , ,		◆これまで経験してきた様		い、意図に応じた表現方法	
			▼ を自分なりに工夫する。	5 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
			◆配色や使用する技法を、	自身の音図や	テーマに広じて工夫する	
			□事前に道具の使用時のル			
			をとり、発想の足掛かり		.,	
6	立体造形①	12	○オブジェ制作		7 3 0	
7	工件坦沙①	12	○ペノンエ門 - ◆木材の端切れ等、身近に	なる事材の待ち	7.トげ士な丁土1	
′			●本材の端切れ等、身近に的な良さや美しさを追求		か上り刀を上大し、垣形	
				, - 0	却たに取りまたで	
			◆使用する素材や道具の特の使用する素材や道具の特別は、		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
			□使用する素材や道具につ			
	ナルルド の		り、様々な表現を制作に	以り入れいです。	\	
9	立体造形②	6	○粘土による造形	H116.1-7		
			◆粘土素材の感触を感じて		2. 344.3 1.	
			◆粘土をこねたり広げたり			
			□使用する素材や道具につ			
			り、様々な表現を制作に取	り入れやすく	する。	
10	日本の芸術	6	○墨を使った制作			
			◆含水量によって変化する		惑じ、制作する。	
			◆美術文化に対する理解を	-		
			◆手の動きや力加減を工夫	し、意図やテー	ーマに応じて描線を変化さ	
			せる。			
			□様々な技法を事前に練習	し、表現の選打	択肢を広げる。	
11	羽ばたき祭	12	○生徒会から依頼をうけて	、掲示用の羽に	ばたき祭のスローガンを作	
12	準備		る			
			◆共同制作を進める中で、	意図に応じた	表現の工夫を学ぶ。	
			◆共同で制作する楽しさを	感じる。		
			□使用する道具や環境の構	造化を行い、自	目主的に制作に取り組める	
			ようにする。			
1	卒業式の装	11.5	○卒業式で使用する飾りを	制作する		
2	飾		◆お祝いを意識した飾りを	作り、意図に原	芯じた表現方法を学ぶ。	
3			◆共同で制作する楽しさを	感じる。		
	ı	1	1			

		_
	□使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組める	
	ようにする。	

			C HJ tL	年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画	
学	部	高	等部	学 年 第2学年	
教	科等名	保	健体育	グループ名 2類型A	
(1) 行 (2) 行 ねらい (3) 行 音) 各発ど各解各を善健	の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する理解するとともに、技能を身に付けるようにする。の運動や健康・安全な生活を営むための自己の課題を発見しのための方策を工夫したり、考えたり判断したりする力を養の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナり、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自尽くして自主的に運動する態度を養う。また、健康・安全にの保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。健康・安、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。	事柄なの、うっと最近のという。
#	 U当教員		<u> </u>		
-	· 三教員]授業時数		<u> </u>		
	用教科書	なな		77.4.A 160	
月	題材名	٠,	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	
通 年	体つくり動	運	87. 5	 ○ラジオ体操、準備体操・歩行・朝の体育(ランニング等)・身体表現(ダンス的活動) ◆決められた周回や時間を走る。 ◆取り組む内容を理解し、見通しをもって授業に参加する。 ◆音楽やリズムに合わせて、楽しく身体を動かすことができる。 □タイマーや次第表などの視覚的支援を行いながら授業を行う。 □リズムの取りやすい音楽やダンスを使用する。 	TVIH 石
4 5	集団行動体力テスト		6	 ○集団行動(姿勢、方向変換、体育座り、集合、歩行、整列(4列縦隊)、挨拶、礼等)、新体力テスト ◆体育の授業の約束やきまりを覚え、見通しをもって活動に参加する。 □写真や絵カード等の視覚的支援を行う。 ○体力テスト ◆自己の身体の動きや体力について知ることができる。 □写真や絵カード等の視覚的支援を行う。 □体力テストで行う種目を手本や写真カードを使用しながら、理解できるようにする。 	
6 7 9	器械運動		10	○マット運動◆実態に適した課題に挑戦し、技ができる楽しさや喜びを味わう。□グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手のつき方などを確認し、自分の獲得した技を発表する。	

	水泳	12	□繰り返し行うことや怪我をしやすい身体の動かし方などを視覚的に提示する。 ○水慣れ、バタ足、蹴伸び等 ◆水中に慣れ、安全に活動ができる。 ◆安全な方法で、水に浮くことができる。 ◆一定時間、決められた方法で水中を進むことができる。 □浮き具等を用意し、安全に行えるようにする。 □個々の能力に応じたグループ分けを行う。	
9	武道	7	○柔道◆道具の使い方を知る。◆礼儀作法を身につける。□手本や写真カードなどの視覚的支援を行う。	
	保健	1	○衛生◆きれいな手の洗い方を知る。□ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいようにする。	
10 11 12	陸上競技	20	○ハードル走◆走りながらハードルを跳ぶことができる。◆片足でリズムよくハードルを跳び越せる。□教員が手本を見せた後、教員と一緒に繰り返し行う。□段階を合わせてグループを分けて活動を行う。	
	球技	20	○ワンベース◆ボールをよく見て蹴ったり捕ったりすることができる。◆ルールを理解することができる。□蹴る、捕る、走るなど部分練習を繰り返し行う。□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。	
1 2 3	陸上競技	13	○長距離走◆決まった時間・距離を自分のペースで走りきれるようになる。□個々の能力に合わせてタイマーや磁石などの教材を使用し、見通しをもちやすくする。	
	ボッチャ	10	○基本技能(転がす・投げる)◆基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。◆ルールを理解し、活動することができる。□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。	

		高等部)年度 東京都立初村特別文 後子 校年間指導計画	
		保健体		
	教科等名			化耸 5 2
			種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に	
			の光月・先星、個八生品及り性芸生品に必要な健康・女主になどの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付ける	
			る。	J & J (C
		-	る。 重の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見〕	. Fn
	ねらい		い解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に	•
	, a 9 t		に伝える力を養う。	
		-	重の運動における多様な経験を通して、ルール、マナーなどを	を守り、
			己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保	- · · ·
		L	、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全	全に留意
		L	、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。	
	担当教員	〇松田	豊貴	
年	間授業時数	192	. 5 単位時間	
侵	巨用教科書	新しい	保健体育(東京書籍)	
月	題材名	時数		備考
通	体つくり運	87. 5	○ラジオ体操、準備体操・歩行・朝の体育(ランニング等)・	······································
年	動		身体表現(ダンス的活動)	
'	-24		◆決められた周回や時間を走る。	
			◆取り組む内容を理解し、見通しをもって授業に参加す	
			る。	
			◆音楽やリズムに合わせて、楽しく身体を動かすことがで	
			きる。	
			□タイマーや次第表などの視覚的支援を行いながら授業	
			を行う。	
			□リズムの取りやすい音楽やダンスを使用する。	
4	集団公 動	C		
4	集団行動	6	○集団行動(姿勢、方向変換、体育座り、集合、歩行、整	
5			列(4列縦隊)、挨拶、礼等)、新体力テスト	
			◆体育の授業の約束やきまりを覚え、見通しをもって活動	
			に参加する。	
			□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。	
	体力テスト	6	○体力テスト	
	11/2//		◆自己の身体の動きや体力について知ることができる。	
			□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。	
			□体力テストで行う種目を手本や写真カードを使用しなが	
			ら、理解できるようにする。	
6	器械運動	10	○マット運動	
7			◆実態に適した課題に挑戦し、技ができる楽しさや喜び	
9			を味わう。	
3				
			□グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。	
			◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手	
			のつき方などを確認し、自分の獲得した技を発表する。	
			□繰り返し行うことや怪我をしやすい身体の動かし方な	
			どを視覚的に提示する。	

	水泳	12	○水慣れ、バタ足、蹴伸び等	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	14	○ 水頂れ、ハクル、 風中の等 ◆水中に慣れ、安全に活動ができる。	
			▼ボ中に頂れ、女生に佰動かできる。◆安全な方法で、水に浮くことができる。	
			◆一定時間、決められた方法で水中を進むことができる。 	
			□浮き具等を用意し、安全に行えるようにする。	
			□個々の能力に応じたグループ分けを行う。	
9	武道	7	○柔道	
			◆道具の使い方を知る。	
			◆礼儀作法を身につける。	
			□手本や写真カードなどの視覚的支援を行う。	
	保健	1	○衛生	
			◆きれいな手の洗い方を知る。	
			□ⅠCT機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいよう	
1.0	7	0.0	にする。 〇ハードル走	
10	陸上競技	20		
11			◆走りながらハードルを跳ぶことができる。	
12			◆片足でリズムよくハードルを跳び越せる。	
			□教員が手本を見せた後、教員と一緒に繰り返し行う。	
			□段階を合わせてグループを分けて活動を行う。	
	球技	20	○ワンベース	
			◆ボールをよく見て蹴ったり捕ったりすることができる。	
			◆ルールを理解することができる。	
			□蹴る、捕る、走るなど部分練習を繰り返し行う。	
			□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。	
1	上 陸上競技	13	○長距離走	
2			◆決まった時間・距離を自分のペースで走りきれるよう	
3			になる。	
			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
			用し、見通しをもちやすくする。	
	ボッチャ	10	○基本技能(転がす・投げる)	
			◆基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことがで	
			きる。	
			◆ルールを理解し、活動することができる。	
			□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。	
	l	l		

			15年段 果尽仰立初代特別又拨子仪年间指导計画
	乡 部	高等部	学 年 高等部2年生
孝	女科等名	職業	グループ名 2類型A
		(1) 勤	労の意義を理解し、職業生活に必要な基本的知識及び技能
		を	身に付ける。
	ねらい	(2) 社	会人として必要なルールやマナーを知り、表現する力を養
	42 D V .	う	0
		(3) イ	ンターンシップや現場実習を通して、将来の生活や自分の
		進	路に向けて実践的な態度を養う。
担	且当教員	○惠	勇太
年間]授業時数	35 単位日	時間
使	用教科書	なし	
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
			○挨拶
			◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。
通	仕事をする		□ロールプレイを利用し、体験的に行う。
年	姿勢や態度	9	○身だしなみ
			◆衛生的な身だしなみを意識して、自ら整えることができる。
			□ICT機器を利用したり、ロールプレイをしたりする。
4	オリエンテ	1	○2年生の年間授業予定、インターンシップの概要
	ーション		○働く場所
5	働く場所	3	◆就労継続B型、生活介護、就労移行、企業就労について学ぶ。
			□ⅠCT機器を利用する。
6	働く目的	4	○働く目的
7			◆働く意義や目的について考える。
			□ⅠCT機器やプリントを利用する。
			○様々な仕事、顧客意識、品質意識、納品、分業・分担、など
			◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く
			□ワークシートを利用する。
9	働く目的2	4	○分業・分担、などを知る。
			◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く
			□体験的な取り組みを行う。
		_	
10	給与・工賃の	2	○給与(工賃)
11	仕組み		◆お金をもらう仕組みを考える。
12		4	□体験的に取り組む。
			○暮らす場所
			◆卒業後、家で暮らす、グループホーム、福祉サービス
			□ⅠCT機器を利用する。
1	趣味・余暇に	2	○いろいろな趣味・余暇の過ごし方
	ついて		◆自分の趣味(外出、ヘルパー利用)
	将来につい	2	□ I C T機器やプリントを利用する。
	て考える		○相談する相手、相談の仕方
2	実習先につ	2	◆「自分のこと」や「将来にこと」などを考える。

	いて		口プリントを利用する。	
3	心の健康	1	○インターンシップ・実習の振り返り	
	3年生に向	1	◆私の実習先、先輩の実習先について知る。	
	けて		□ⅠCT機器を利用する。	
			○ストレスについて理解する。	
			◆ストレス発散方法について知る。	
			□プリント教材を利用する。	
			○2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認	
			◆2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見	
			通しをもつ。	
			□プリント教材を利用する。	

			15年及 果泉郁亚初州特別又按子仪年间拍导計画					
学	学部	高等部	学 年 高等部 2 年生					
耄	数科等名	職業	グループ名 2 類型 B C					
		(1) 勤	労の意義を理解し、職業生活に必要な基本的知識及び技能					
		を	身に付ける。					
	to constant	(2) 社	(2) 社会人として必要なルールやマナーを知り、表現する力を養					
	ねらい	う	0					
			ンターンシップや現場実習を通して、将来の生活や自分 <i>0</i>					
			路に向けて、実践的な態度を養う。					
排	2000年		一郎					
	1授業時数	35 単位日						
			だちするためのビジネスマナー&コミュニケーション					
使,	用教科書		教育研究出版社)					
月	題材名	時数						
Л	四四石	可奴	○主な子首内谷 ▼ねらい (評価の観点) □指導の工大					
\Z:	ひまさ しゃ		◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。					
通	仕事をする	9	□ロールプレイを利用し、体験的に行う。					
年	姿勢や態度	-	○身だしなみ					
			◆衛生的な身だしなみを意識して、自ら整えることができる。					
	,		□ I C T 機器を利用したり、ロールプレイをしたりする。					
4	オリエンテ	1	○2年生の年間授業予定、インターンシップの概要					
	ーション		○働く人・働く場所					
5	働く人	3	◆働く人や働く場所について学ぶ。					
			□ⅠCT機器を利用する。					
6	働く意義	4	○働く意義					
7			◆働く意義や目的について考える。					
			□ICT機器やプリントを利用する。					
			○様々な仕事、顧客意識、品質意識、納品、分業・分担、など					
			◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く					
			□ワークシートを利用する。					
9	働く意義	4	○分業・分担、などを知る。					
			◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く					
			□体験的な取り組みを行う。					
	₩ - · · ·							
10	給与・工賃の	2	○給与(工賃) ▲ NA 本 A A A A A A A A A A A A A A A A A					
11	仕組み		◆お金をもらう仕組みを考える。					
12		4	□体験的に取り組む。					
			○暮らす場所					
			◆卒業後、家で暮らす、グループホーム、福祉サービス					
			□ⅠCT機器を利用する。					
1	趣味・余暇に	2	○いろいろな趣味・余暇の過ごし方					
	ついて		◆自分の趣味(外出、ヘルパー利用)					
	将来につい	2	□ICT機器やプリントを利用する。					
	て考える		○相談する相手、相談の仕方					
l	•	1						

2	実習先につ	2	◆「自分のこと」や「将来のこと」などを考える。	
	いて		ロプリントを利用する。	
3	心の健康	1	○インターンシップ・実習の振り返り	
	3年生に向	1	◆私の実習先、先輩の実習先について知る。	
	けて		□ⅠCT機器を利用する。	
			○ストレスについて理解する。	
			◆ストレス発散方法について知る。	
			□プリント教材を利用する。	
			○2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認	
			◆2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見	
			通しをもつ。	
			□プリント教材を利用する。	

当	全 部	高等部	0 一及	学 年	第2学年		
孝	女科等名	家庭	グループ名 2類型A				
		(1) 自立	 した生活を目指して、衣食			基礎的	
			解を深め、それらに係る技能を身に付ける。				
	ねらい		生活の中から問題を見つけ		- 0	動した	
	ηα· 5 γ	りす		\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	TO THE STATE OF TH	3) 0 / C	
			る。 良い生活の実現に向けて、	生活を工士!	老うとうしする		
+1	1当教員	(3) より ○河村		王伯を工人し	へろんよりとする。		
-	日	59.5単					
				7	※ 公 払.)		
	用教科書		教科書 小学校低学年~高			/++: - 1 /2.	
月	題材名	-	○主な学習内容・◆ねらい	ハ(評価の観点	は 日指導の工大	備考	
4	日常食の	12.1	○日常食の調理				
5	調理		◆簡単な朝食作りがて	0			
			◆調理室の正しい使い				
			□教員と一緒に手を動	かしながら	体験実習をする。	_	
6	衣服の	5.1	○衣服の手入れ				
	手入れ		◆洗濯の仕方(洗う、	干す、たた	む)を理解し実践で		
			きる。				
7	小物の制	11.9	◆衣服の材料や状況に	に応じた手入	.れができる。		
	作		○基礎的な縫い方				
			◆基礎縫いの方法を理	具解し、活用	する。		
			□ポイントを箇条書き	で提示し、	確認しながら取り組		
			めるようにする。				
9	ミシンを使	3. 2	○製作				
10	った小物の	,	◆製作に関心をもち、	大まかな工	程を理解する。		
	製作		◆基本的な用具の扱い	方を知り、	製作する。		
			□教員と一緒に手を動かし	ながら体験実	習をする。		
11	郷土料理	11.9	○郷土料理				
12	日常食の調		○日常食の調理				
12	理		◆地域の郷土料理を知	1 ろ			
	/		◆三大栄養素の働きを	-			
			◆基本的な調理用具の扱い		全に調理する		
				· // これり、 女 .	主に開発する。		
1	家族の役	3.4	○家族の役割				
	割		◆生活するために必要		り、家族の一員とし		
2			てできることを考え	_			
	季節と暮ら		□興味を引き出せるような	体験的な活動	を多く取り入れる。		
	し	8. 5	○季節にふさわしい衣服を	知る。			
	日常食の調	j	◆冬にふさわしい衣服を選	ぶことができ	る。		
	理		□日常的に身近な具体物を	提示し、イメ	ージし易くする。		
			○旬について知ろう。				
			◆冬が旬の食べ物がわかる	0			
3	消費生活	6.8	○環境に配慮した生活	<u>.</u>			
			◆品質や環境について	. のマークを	知る。		
			□カードゲームを用いて興	味が持ちやす	いようにする。		
						1	

学	产 部	高等部	0 一及	学 年	第2学年	
	対等名	家庭		グループ名	2 類型 B C	
		(2) 自立	 した生活を目指して、衣食	住、家族・家	<u></u> 庭、消費や環境について	基礎的
			解を深め、それらに係る技			
	ねらい		生活の中から問題を見つけ		-	動した
		りす		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			良い生活の実現に向けて、	生活を工夫し	、考えようとする。	
排	1当教員	渡邉富			<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	
	授業時数	59.5単				
	用教科書		教科書 小学校低学年~高	学年用(山と)		
月	<u>題材名</u>		○主な学習内容 ◆ねらい			備考
4	日常食の		○日常食の調理	(月11四~2月17	<u> </u>	Vm ·· J
5	調理	12.1	◆簡単な朝食作りがで	· キ ス		
	m 产		◆調理室の正しい使い			
			□ 教員が見本を見せる			
			指導する。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	円息 し惟恥 しなかり	
6	衣服の	5.1	○衣服の手入れ			
0		0.1		エナーをた	た、ケササガキス	
	手入れ		◆洗濯の仕方(洗う、			
7	J. Har or Hill	110	◆衣服の材料や状況に	- 応 し た 手 八	.れかじさる。	
7	小物の制	11.9	○基礎的な縫い方	1 <i>6</i> 77 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十 フ	
	作		◆基礎縫いの方法を理			
			□ポイントを箇条書き	で佐小し、	惟 応 し な か ら 取 り 担	
			めるようにする。			
	こっハノナ、仕		○製作	上 ナ ム み エ	44 ナ、田 畑 ナ フ	
9	ミシンを使		◆製作に関心をもち、			
10	った小物の	'	◆基本的な用具の扱い			
	製作		□教員が見本を見せる。手	順書を用息し	唯認 しなから指导する。 	
11	郷土料理	11.9	○郷土料理			
12			○日常食の調理			
			◆地域の郷土料理を知	1る。		
			◆三大栄養素の働きを	理解する。		
			◆基本的な調理用具の扱い	方を知り、安全	全に調理する。	
1	家族の役	3.4	○家族の役割			
	割		◆生活するために必要	· ·	り、家族の一員とし	
2			てできることを考え	2 3		
	季節と暮ら	8. 5	□興味を引き出せるような	体験的な活動	を多く取り入れる。	
	L		○季節にふさわしい衣服を	知る。		
	日常食の調	1	◆冬にふさわしい衣服を選	ぶことができ	る。	
	理		□日常的に身近な具体物を	提示し、イメ	ージし易くする。	
			○旬について知ろう。			
			◆冬が旬の食べ物がわかる	0		
3	消費生活	3.4	〇環境に配慮した生活			
			◆品質や環境について	. のマークを	知る。	
			□カードゲームを用いて興	味が持ちやすい	いようにする。	
			□カードゲームを用いて興	味が持ちやすい	いようにする。	

ردر	5 √ 17	 /) 牛皮 果泉都立羽村特別文拨字仪牛間指導計画						
学			等部 ====================================	学年2学年						
孝	女科等名		国語							
		(1)		や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付						
			ともに	こ、外国語に親しみながら、実際のコミュニケーションにおいて	、外国語に親しみながら、実際のコミュニケーションにおいて活用					
			できる	る基礎的な力を身に付けるようにする。						
	ねらい	(2))身近て	で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと	がで					
			きる基	基礎的な力を養う。						
		(3)	外国語	吾の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体	的に					
			外国語	Fを用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
担	1当教員	\bigcirc 1	中熊	康生						
年間	授業時数	35	単位時	宇間						
使	用教科書	C	D付き	英語カード食べ物編(くもん出版)						
月	題材名				備考					
4	挨拶		4	○外国語で自己紹介をしよう						
5	自分の名前			◆自分の名前や好きなことを英語で表現することができる。						
				□イラストカードや表現文等を選択肢で提示する。						
				○自分の名前						
				◆英語で書かれた自分の名前を、いくつかの選択肢の中から選						
				ぶことができる。						
				□タブレット端末や絵カードなどの視覚支援できる教材を提						
				示し、生徒のイメージをもちやすくする。						
6	英語で表現		4	○英語で挨拶をしよう						
7	しよう①		*	◆英語での簡単な挨拶をすることができる。						
				◆日付、曜日、天気、気持ち等の英語表現をすることができる。						
				□日付の言い方、曜日、天気、気持ちを表す英語表現を覚えら						
				れるよう、イラストカードや表現文を選択肢で提示する。						
9	英語で表現		4	○日常生活に関する単語や簡単な文法を知ろう						
	しよう②		1	◆食べ物、色、数など身近な英単語						
				◆学習した英単語や表現を用いて、相手に要求したり、道を案						
				→子自じた英華品や表現を用いて、相手に要求したり、道を采りしたりする。						
				□フレーズカードを用いて表現しやすくする。						
10	外国の文化		9	○外国の文化を知ろう						
11				◆世界の伝統的な食べ物や衣装など						
12				□献立表や ICT 機器を用いて提示する。						
1	英語で質問	L	3	○身近な英語を表現しよう						
	よう			◆簡単な英語の表現(生活に関する質問、ロールプレイ)に興						
				味をもって学習することができる。						
				□色や食べ物など、身近なものの個数や色など、質問しやすい						
				項目を設定する。						

2 3	買い物	5	○買い物場面の単語・表現◆買い物で使う単語や表現を理解して、実際に買い物の場面を 想定して使用する。□具体物を使用して、興味・関心を引き出したり、視覚的に分かりやすいようにしたりする。	
年	アルファベット	6	○アルファベットの復習◆アルファベットの大文字小文字の表記や音読をすることができる。□なぞり書きや、読みのルビを付けて取り組みやすくする。	
	英語の歌		○英語の歌◆馴染みのある映像や音楽を英語で聞き、興味をもつ。□生徒になじみ深いものや興味・関心を引き出せそうな教材を 準備する。	

		73 AH C	5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画						
亨	学 部	高等部	学 年 2学年						
参	数科等名	外国語	グループ名 2類型BC						
		(1)音声や	や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付	・くと					
		ともに	こ、外国語に親しみながら、実際のコミュニケーションにおいて	活用					
		できる	る基礎的な力を身に付けるようにする。						
	ねらい	(2)身近で	で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと	がで					
		きる基	基礎的な力を養う。						
		(3)外国語	吾の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体	的に					
		外国語	5を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
担	11 数員	○松田豊	貴 ○室屋めぐみ						
年間	1授業時数	35 単位時	·····································						
使	用教科書	C D付き	英語カード食べ物編(くもん出版)						
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 1	備考					
4	挨拶	4	○外国語で自己紹介をしよう						
5	自分の名前		◆自分の名前や好きなことを英語で表現することができる。						
			□イラストカードや表現文等を選択肢で提示する。						
			○自分の名前						
			◆英語で書かれた自分の名前を、いくつかの選択肢の中から選						
			ぶことができる。	ļ					
			□タブレット端末や絵カードなどの視覚支援できる教材を提						
			示し、生徒のイメージをもちやすくする。						
6	英語で表現	4	○英語で挨拶をしよう						
7	しよう①		◆英語での簡単な挨拶をすることができる。						
			▼共語との簡単な疾移をすることができる。◆日付、曜日、天気、気持ち等の英語表現をすることができる。						
			□日付の言い方、曜日、天気、気持ちを表す英語表現を覚えら						
			れるよう、イラストカードや表現文を選択肢で提示する。						
9	英語で表現	4	○日常生活に関する単語や簡単な文法を知ろう						
	しよう②		◆食べ物、色、数など身近な英単語						
			◆学習した英単語や表現を用いて、相手に要求したり、道を案						
			内したりする。						
			□フレーズカードを用いて表現しやすくする。						
10	外国の文化	9	○外国の文化を知ろう						
11			◆世界の伝統的な食べ物や衣装など						
12			□献立表や ICT 機器を用いて提示する。						
1	英語で質問	し 3	○身近な英語を表現しよう						
_	よう		◆簡単な英語の表現(生活に関する質問、ロールプレイ)に興						
			味をもって学習することができる。						
			□色や食べ物など、身近なものの個数や色など、質問しやすい						
			項目を設定する。						
2	買い物	5	○買い物場面の単語・表現						
3		Ŭ	◆買い物で使う単語や表現を理解して、実際に買い物の場面を						
			想定して使用する。						
			□具体物を使用して、興味・関心を引き出したり、視覚的に分						
			かりやすいようにしたりする。	ļ					
li	L		1						

通	アルファベッ	6	○アルファベットの復習	
年	F		◆アルファベットの大文字小文字の表記や音読をすることが	
			できる。	
			□なぞり書きや、読みのルビを付けて取り組みやすくする。	
	英語の歌		○英語の歌	
			◆馴染みのある映像や音楽を英語で聞き、興味をもつ。	
			□生徒になじみ深いものや興味・関心を引き出せそうな教材を	
			準備する。	

<u> </u>	全 部	高等部	・年度 東京都立羽村特別文援学校年間指導計画						
		特別活動	グループ名 2 類型						
			かなどを通じて、取り組むために必要となることを理解する。						
		(2)自分の) 意見を発表したり、必要なことを話し合ったりすることを通じて、						
	ねらい	コミュ	コミュニケーション力を高めるとともに、意思決定できるようになる。						
		(3)周囲の)友達と協力して取り組むことで、主体的、協働的な態度を身に作	けけ					
		る。							
担	旦当教員	第2学年	教員						
年間	引授業時数	35 単位時	間						
使	用教科書	なし							
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考					
4	話し合い	7	○1学期の目標や係決め						
5			○掲示物の作成						
	友達を知	ろ	◆協力して制作活動などに取り組むことができる。						
	う		○係活動						
	係活動		◆責任をもって、決められた内容を自発的に行うことができる。						
			□生徒の実態に応じて言葉掛けや支援方法を工夫する。						
6	清掃活動	10	○教室等清掃						
7			◆学校や他者のために働く気持ちを育む。						
	学年集会	を	○学年集会の準備						
	しよう		◆他者を尊重する気持ちを育む。						
	夏休みに	向	◆1学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し発表すること						
	けて		ができる。						
		,	□ICT機器を活用し、興味関心がもてるよう工夫する。						
9	移動教室	に	○2学期の目標や係決め						
	向けて		●自発的に活動に参加する意欲をもって取り組む。						
			○行事に向けた話し合い ▲ 新た即も、 近野中宮の様々な処割がもステルた何ス						
			◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。□集団行動を通して、人の気持ちを考えながら行動できるよう。						
			口集団11 動を通して、人の気持ちを考えなから11 動できるよう にする。						
			· •						
10	係活動	11	○係活動						
11	清掃活動		◆自分の役割に責任をもって、自発的に行うことができる。						
12	W F- #- A	. 2.	○教室等清掃 ▲ ※ はないまた。 といった。						
	学年集会	を	◆学校や他者のために働く気持ちを育む。						
	しよう		○学年集会の準備						
	冬休みに けて	l _H]	◆活動を通して、他者を尊重する気持ちを育む。 ◆ 2 学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し、発表するこ						
	() (▼ 2 子朔を振り返り日分の気持らや息見を登埋し、発衣するこ とができる。						
			こがてさる。 □生徒の実態に応じて言葉掛けや支援方法を工夫する。						
1	話し合い	7	○3学期の目標や係決め						
2	清掃活動	'	◆自発的に活動に参加する意欲をもって取り組むことができ						
3	.,,		る。						
	学年集会	を	○行事に向けた話し合い						
	しよう		◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。						
	3 年生に	む	○教室等清掃						
	けて		◆学校や他者のために働く気持ちを育む。						
			○学年集会の準備						
			◆他者を尊重する気持ちを育む。						
			◆3学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し、発表するこ						
			とができる。						
			│□自発的、能動的に活動に取り組めるよう促していく。 │□ICT 機器を積極的に活動の中に取り入れる。						
			凵エシエイ液命でイサイトツトリトーイイは別ツサトルー収り八イレの。	1					

,,,	/ Jan		0 年度 果泉都立羽村特別文援学校年間指導計画
	≥ 部	高等部	学 年 第2学年
孝	枚科等名	日常生活	の指導 グループ名 2類型
		(1) 集団	の中での必要な生活習慣を身に付け、主体的に実践できる力を育む。
	ねらい	(2) 健康	や身辺の衛生への必要性を理解し、健全な生活を送る力を育む。
	49011	(3) 自分	の役割を通して、きまりやマナーを守り、集団の中で協力をしながら
		活動	ができる力を養う。
井	3当教員		豊貴、中居 桂、中村 薫、関口 由羅、家納 汀、秀島 直良
	1万次 <u>八</u> 月授業時数	105 単位	
	用教科書	なし	LA THI
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
		*	
4	ルールやマ	*	○友達を意識して挨拶をすること
5	ーを守ろう		○状況に応じた挨拶をすること
	〈挨拶を意	識	○適切な声の大きさで挨拶をすること
	しよう〉	_	◆挨拶を意識して行う。 ★ 切えた
	〈わかりや	· ·	◆相手に伝わるよう、主体的に日常の挨拶・意思表示ができる。
	い挨拶をし	て	◆教員や友達をはじめ、校内で出会った大人、来校者に対して、
	5 >	10	適切に挨拶ができる。
	〈朝の会、帰	9	□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支
	の会〉		援をする。
			○身だしなみに関すること
	自分ででき		○更衣と整理に関すること
	ことは自分		◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだ
	やろう〈身		り、所定の場所にしまったりして、衣服の管理が確実にでき
	しなみや身		<u> </u>
	整理をし	よ	◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりす
	う〉		ることができる。
			◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。
			□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支
			援をする。
6	ルールやマ		○自分の役割を意識して活動すること
7	ーを守ろう		○クラスの友達と、協力して活動すること
9	〈集団と役	*	◆自分の係を意識し、責任をもって行うことができる。
	を意識し	よ	◆活動が終わったら、教員に報告ができる。
	う〉		◆クラス全体の様子に日々関心をもち、率先して友達と関わろ
	〈役割をや		うとする。
	遂げよう〉		◆次の活動や予定を理解し、見通しをもって確実に活動するこ
	朝の会、帰	り	とができる。
	の会>		◆友達同士、協力して行うことができる。
			□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支
	自分ででき		援をする。
	ことは自分		○身だしなみに関すること
	やろう〈身		○更衣と整理に関すること
	しなみや身		◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだ
	整理をし	よ	り、所定の場所にしまったりなどして、衣服の管理が確実に
	う〉		できる。
			◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりす
			ることができる。
			◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。
			□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支
			援をする。

l	Ι	T		
10	ルールやマナ	30	○時間を意識して活動すること	
11	ーを守ろうⅢ		○時間を守って活動すること	
12	〈時間を守ろ		◆時系列がわかり、主体的に時間を意識しながら一日の活動全	
	う〉		般に見通しをもって行動することができる。	
	〈自分の順番		◆授業準備ができる。	
	を守ろう〉		◆環境を整えて集合ができる。	
	〈安全を意識		□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支	
	しよう〉		援をする。	
	〈朝の会、帰り		○自分の順番を守って活動すること	
	の会〉		○安全な移動に関すること	
	自分でできる		◆右側通行を守って移動ができる。	
	ことは自分で		◆列を意識して移動ができる。	
	やろう〈身だ		□具体的な場面で指導していく。	
	しなみや身辺		○身だしなみに関すること	
	整理をしよ		○更衣と整理に関すること	
	う〉(自分のも		◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだ	
	のは自分で管		り、所定の場所にしまったりなどして、衣服の管理が確実に	
	理しよう〉		できる。	
	4.0%)/		◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりす	
			▼文式をしながら、公類をたたんだり、パンカーにかりたりすり ることができる。	
			◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。	
			□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支	
			援をする。	
			○持ち物に関すること	
			○自分の荷物を所定の場所に置くこと	
			○自分の持ち物を適切に管理すること	
			○整理整頓に関すること	
			○プリント類の整理に関すること	
			◆自分の持ち物がわかり、自分で管理できる。	
			◆持ってきたプリント等提出物を教員に自分から提出するこ	
			とができる。	
			◆自分の荷物を自ら整理し、きれいに保管したり整頓したりす	
			ることができる。	
			=	
			◆机の中やロッカー等の整理・保管に関して意識し、主体的に	
			整理整頓ができるようになる。	
			□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支	
			援をする。	
1	集団の中で協	30	○友達を意識して活動すること	
2	カしよう		○友達同士で協力をして活動すること	
3	〈他者を意識		◆友達を意識して活動ができる。	
	しよう〉		◆友達のペースにあわせて活動することができる。	
	〈一緒に活動		◆友達や周囲の人の気持ちを考えて行動ができる。	
	しよう〉		□具体的な場面で指導していく。	
	〈朝の会、帰り		○身だしなみに関すること	
	の会>		○更衣と整理に関すること	
			◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだ	
	自分でできる		り、所定の場所にしまったりするなどして、衣服の管理が確し	
	ことは自分で		実にできる。	
	やろう		◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりす	
	く身だしなみ		ることができる。	
	や身辺整理を		◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。	
	しよう〉		□生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支	
	〈自分のもの		援をする。	
	は自分で管理			
	しよう〉			
			_	

产	全 部	直笙	如	1 24	21024	- н		学	女 , 戊 年		第 2	<u>学</u> 在				
		高等部 生活単元学習						,	<u>ーーナ</u> レープタ							
+	7.11 子石				トたは	シャナン	休驗汪		<u>・ / /</u> 通し、				つ値な	<u></u>	宇	生 迁
									^通 し、 を身に				ノ 田 で	. 140 、	大	-1-1□
	ねらい	(2) ∄	E 体的	・共同	司的に	.取り	組むこ	とが	できる	意律	欲や飢	態度を	育成	する。		
		(3)名	各行事	手や季節	節に関	に関	わる活	動を	取り入	れ	て経り	験の幅	冨を広	ば、ほ	日常	とは
		昪	異なった活動でも見通しをもって活動に取り組むことができる。													
担	1当教員	○松	田 :	豊貴、	中居	桂、	中村	薫、	関口	庄	∃羅、	家納	汀、	秀島	直	.良
年間	月授業時数	35 単	位時	間												
使	用教科書	なし														
月	題材名	B	寺数	〇主7	な学習	内容	♦ね	らい	(評価	jの	観点)]指導	の工夫	i i	備考
4	2年生の環	境 2	2				ヒ1年		目標							
	に慣れよう						ール確記									
									3いて、					確認し	`	
					_				トること		-					
									ろなル、	一 刀	レヤマ	ナー	がある	うことを	٤	
							を守るこ			>	11111111111111111111111111111111111111	w > ∃K	ㅁ 나	7		
									.体例を Pすくす			けり就	PH 9 /	၁ ့		
				□ 17t 5	心义饭	∡ 11 ∧	· 、) / ·	<i>)</i> -9 \	. 9 \ 9	1 2	0					
	メッセージ	力 1	L	○離信	壬され	た先生	生方への	のメッ	ノセーシ	シカ	ード	書き				
	ードを作ろ	う		◆感記	射の気	持ちる	を言葉ら	や絵な	ょどで表	長現	しする。)				
				□生征	走一人	一人力	が表現っ	できる	る術を月	月意	でする。					
5	大区力人に	\sim 1		○☆;	番 ルノー	1.07	本 到 5	2	⋧登下校	ゥよ	· 注					
6	交通安全に	ر _{ا (} ر	L						そ全に利			ている	か振	り返ろ		
7	いて						レール	-		y 39J			1/7 1/12) KE S	0	
'									。 イメーシ	ジを	もち	やすく	する	0		
	校外を安全	に 1	L				通ルー									
	歩こう			◆ル	ールを	守っ	て、友	達と	協力し	て	安全に	こ活動]する	0		
									、集団							
				□ル	ールや	マナ	ーを事	前に	確認す	つる。	0	-				
	1学期のま	と 1	L						の生活							
	め								り返り				を得る	る 。		
									過ごし力	ラを	知る。					
					–		ながらi を活用っ		る。							
9	2 学期につ	い 1	 I						∖目標の	り設	中 定					
3	て知ろう	` 1	L		•		こ見通り			<i>></i> μχ	· /L					
	• / /								具体的	りな	方策	を考え	. る。			
				□視覚	覚的な	教材を	を用意っ	する。	ワーク	ァシ	/ート	を活用	する	0		
	選挙に参加	し 1	L						メについ							
	よう								2選択を			票する	0 0			
				□個为	別に応	して、	投票片	刊紕等	いま かいまん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいしん いっぱい かいしん いっぱい かいしん いっぱい かいしん いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい かいしょう しゅう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	甫す	る。					
	防災につい	て 1	1	○陆(災につ	いてら										
	めみについ 学ぼう		L				-	∃堂∂)防災に	~ ~	いって	知る				
	1 は ノ								見覚的に			- 0	する	0		
									イメーシ							
													•	•		

		I _		
10	セーフティ教	3	○全校セーフティ教室	
11	室に向けて		◆防犯対策について理解を深める。SNSトラブルについて知る。	
12	(情報リテラ		□具体例を挙げ、イメージを持ちやすくする。	
	シー)		○ 去 ル ズ 科	
	人の役に立と う	2	○奉仕活動	
	⑦ (ボランティ		◆地域のゴミ拾い等を行い、地域の役に立つ経験を積む。	
	アマインド)		◆協働して物事を成し遂げる良さを知る。	
	, ,		□役割分担をして自分の役割を明確化することで、協働の意識 を高められるように支援する。	
			を向められるよりに又抜りる。	
	2 学期のまと	1	○2学期の振り返りと冬休みの生活について	
	め		◆ 2 学期に努力したことを振り返り、自己達成感を得る。	
			◆健康管理や余暇の有効な過ごし方を知る。	
			□具体例を示しながら説明する。ワークシートを活用する。	
1	3学期につい	1	○3学期の予定、3学期個人目標の設定	
2	て知ろう		◆3学期の活動に見通しをもつ。	
3			◆3学期の個人目標を立て、具体的な方策を考える。	
			□視覚的な教材を用意する。ワークシートを活用する。	
	余暇活動につ	2	○余暇の過ごし方について	
	いて知ろう	_	○余暇的活動の体験	
			◆余暇の過ごし方について考える。 ▲ カルの たいようしょ おこえ	
			◆自分のやりたいことを考える。	
			□先輩の話など具体例を挙げながら、自分のやりたいことを考し えられるように支援する。	
	1年間のまと	2	○1年間の振り返り、3年生の予定	
	め		◆2年生の学校生活を振り返り、努力したことや3年生に向け	
			ての課題を意識する。	
			◆3年生での生活に見通しをもつ。 □具体例を示しながら説明する。ワークシートを活用する。	
			口具体例を小しなから説明する。 グーグ グートを佰用する。	
通	現場実習につ	2	○現場実習の事前事後学習(各学期)	
年	いて		◆現場実習日誌を作成したり、壮行会に参加したりすること	
			で、現場実習への意欲を高める。	
			◆現場実習での良かった点や課題を振り返り、まとめる。お礼	
			状を書き、先方に感謝の意を示す。 □実習日誌の記入する場所を分かりやすく提示する。	
			□美智日誌の記入する場所を分かりやすく提示する。 □社会人としてのルールやマナーを事前に確認する。	
	季節行事につ	10	○季節行事(各学期)	
	いて		◆季節に合った世界の行事を知ったり、楽しみながら、日本の	
	(国際理解)		四季に慣れ親しんだりする。	
			□生徒が興味・関心を広げられるような題材を取り扱う。	
			3,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7	
	大掃除	3	〇大掃除(各学期末)	
			◆使用した場所を協力してきれいにする。	
			□役割分担を明確にし、協力しあう環境を設定する。	
L		l	1	

دم	소 소 #	<u></u>) 牛皮 果泉都立羽村特別文援字校牛間指導計画							
<u> </u>	学部		等部	学 年 第2学年							
孝	数科等名			探究の時間 グループ名 2類							
		(1		P地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、							
			技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。								
	ねらい	(2	(2)課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表								
	AR DV		現力を	と身に付ける。							
		(3	(3)各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に								
			り組む	『態度を身に付ける。							
担	11 数員	0	中村	薫							
年間	『授業時数	35	単位時	· 計間							
使	用教科書	な	し								
月	題材名		時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の	の工夫 備考						
4	新クラス紹	介	2	○新しいクラスでの自己紹介、学年集会	NIM V						
5	1 12 1 2 2 1 ALE	<i>></i> 1		◆新しいクラスで自己紹介しあうことでクラス、学年(の交流						
6				を深める。	- Niu						
				□自己紹介のテンプレートを用意する。交流が深まる。 □ □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □	トカに						
				話し合い活動などを取り入れる。	م کرات 						
	校外学習に		9								
			3	○立川駅周辺について事前事後学習	54 +7E 77						
	いて①(立	ווע									
	駅周辺)			心を育む。							
				□ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。							
	オリパラレ	ガ	3	○社会貢献活動							
	シーについ	て		◆地域への社会貢献活動を通して、ボランティアマインドを							
				醸成する。							
				□自分たちのできる社会貢献について考え、実践させ	る。						
	羽村特別支	援	2	○50年周年記念式典のポスター作製							
	学校 50 周			◆50 年周年記念式典の開催をアピールするポスター	を作製						
	について	,		する。							
				^ ~。 □キャラクターやスローガンを用いてポスター作製を	行う。						
7	移動教室に	<u> </u>	4	○ 移動教室事前事後学習							
9	り切み主にいて	_	•	◆移動教室のねらい、行き先、活動内容等を知り、活動	動に見し						
				▼移動教主のねらい、行され、活動的各等を加り、信息 通しをもつことができる。	<i>5</i> /1 (
					z						
				□十分に見通しがもてるように視覚的な教材を多用す □	る。						
	SNSにつ	1/3	2	○SNSルール、Office365の活用							
		۷.		◆SNSルール、0111ce305の6円 ◆SNSルールについて知る。0ffice365を活用する。							
	て										
				□具体例を提示して分かりやすいように進行する。	_						
				□office365の操作は進度によってグループ分けをする	၁ .						

	羽村特別支援	2	○羽村特別支援学校 50 年の歩みについての調べ学習	
	学校 50 周年	2	◆羽村特別支援学校 50 年の歴史を知る。	
	について		□羽村特別支援学校の歴史に触れ、親しむ。	
			日初行刊が大阪子氏の正文に通り、私しも。	
10	進路を考える	1	○ビジネスマナー講座 外部講師	
11	(1)		◆学生と社会人の生活の違いを知り、進路を考える。	
12			 □具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会	
			とする。	
	進路を考える	1	○福祉サービスガイダンス	
	2		◆卒業後に有用な社会資源を知る機会とする。	
			□具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会	
			とする。	
	羽ばたき祭に	4	○羽ばたき祭事前事後学習	
	ついて		◆羽ばたき祭の作品展示や作業販売に向けて、必要なものを	
			調べ、協力して準備する。	
			□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが	
			分かりやすいよう視覚的に支援する。	
	学年レクリエ	2	○学年レクリエーションの計画・実行。	
	ーションにつ		◆様々な人が楽しめるレクリエーションについて調べ、役割	
	いて		を分担し、人との関わり方を学習する。	
			□それぞれの生徒が活躍できる場を設定し、事故達成感が味	
			わえるようにする。	
1	校外学習につ	3	○東京駅周辺について事前事後学習	
2	いて②(東京		◆東京駅の歴史と機能などを調べ、整理したものを発表す	
3	駅周辺)		る。	
			◆当日の活動予定をクラスで協力して計画する。	
			□ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。	
			□地図等を活用して活動場所を視覚的に分かりやすくする。	
	3年生を送る	3	○3年生を送る会に向けて	
	会について		◆3年生に感謝の気持ちを込め、仲間と協力して練習や準備	
			を行うことができる。	
			□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが	
			分かりやすいよう視覚的に支援する。	
	1年間のまと	2	○1年間のまとめと進級について	
	め		◆1年間の行事や、授業で行った主な活動に関して振り返	
			り、成果を発表したり、友達の発表を聞いたりして、3年	
			生に向けての展望をもつことができる。	
			□生徒一人一人が自己達成感を味わえるような工夫をする。	